

76回『謳粹会』の記

会長 篠田 康

開催 日時 平成16年12月9日(木)
場所 上野『高田屋』

平成10年から始まった『謳粹会』の忘年会も今年で七回目を迎え増す。最初の年は『東進会』と合同で行われ、多くの方が出席されました。去年は池之端の『鳥栄』にしようと考えて、10月下旬に予約をしたが、既に満席で、来年の二月まで塞がっているということで、慌てて両国の『ももんじや』にお願いしてことなきを得ました。別に酉年にこだわったわけではないのですが、今年こそは鳥鍋でと思い、やはり10月の中頃に、人形町の『玉ひで』に予約に行ったが、もう満席で今年も東京シャモには会えなかった。

先月の会は上野公園で西郷さんの銅像横にある『グリーンパーク』『旦妃楼飯店』の中華料理だったが、山を下りて広小路に向かうと寄席「鈴本」の隣に『高田屋』という蕎麦屋があって、蕎麦屋と言っても季節の宴会料理を提供して賑わっている店を見つけた。「鈴本寄席」の隣と言ったが、住所を見ると鈴本ビルとあり、改めて「鈴本」が巨大なビルであることを知った。

『高田屋』の他に、中華料理店、ステーキや洋食屋など、地階から6階まで飲食店のテナントで満されている食のデパート。向かいの永藤も、卵パンや甘シヨクで有名だったが、あれだけ大きくやっていたパン屋を辞めて、ここも飲食店のテナントのみとなり、9階には『蟹道楽』上野店が入っていた。

ここが蕎麦屋だと言うが、みずほ銀行の角を西に仲之町を入ると、有名な『蓮玉庵』があり、今でも昼時には黒塗りの高級車が何台か停まっている。それから先の200mくらいの所には“巢籠りそば”で有名な『池之端やぶ』がある。以前「鈴本」の裏手には、『こどう更科』という言う名店があった。ここはお蕎麦も良かったが、煮詰めたような蕎麦つゆが素晴らしかった。塩辛いので、ダップリつける訳にはいかず、端にちょっとつけて啜り込む、蕎麦のお変わりが100円の時、つゆのお変わりも100円だった。この他に、今人気のある店は、丸井の裏の『上野のやぶ』が大層な評判になっている。

上野山下交番の所に出た。これまで在った横断歩道橋が無い。その付近の道路は工事中で、聞けば、地下駐車場と通路を建設中だそうで、鉄板が道路を広小路近くまで覆っている。今日は割合に暖かだ、寄席隣に海老茶の幟が優しく揺れて、「鈴本」前のに数人の人がたむろしている。と、突然その中の一人から声をかけられてびっくりした。見ると、何時も一番先に出席される山田晴康さんがニコやかな笑顔で立っておられた。「あまり、早く来たのでこの辺りをブラついておりましたが、誰か来ないかなと待っておりました」といって、ここに暫く居たと言う。これは大変嬉しかった。6月の『きくかわ』の鰻にご出席後、手術をされたと聞きましたが、ご容体は如何かと、毎月の会報を送る度に心配しておりました。でも本日、ここに半年振りに元気なお姿を見ることが出来て、まず、本当に良かったと安堵致しました。